

# まごころだより

2023年 1月号

## “お婆ちゃんと戯れる”

我が施設では高齢者も子供も障害者も同じ所で過ごす、いわゆる富山型デイサービスを行っています。そこには区別するような垣根は無く、他人同士であっても、まるで孫子の様に可愛がる高齢者がいます。富山型ではごく当たり前の様子ですが、高齢者や子供にとっては家では味わえない関係がここにはあります。その表情は皆さんとても柔らかく、優しい顔が溢れています。



## “兄弟姉妹なかよく”



この子達は兄弟です。上は5歳、中が3歳、一番下が1歳。親御さんに言うには、兄弟げんかほとんど無く、むしろ上の子は下の子を可愛がり、中の子はお兄ちゃんが大好きだということです。上の子供を送迎する際、必ずと言っていいくらい玄関まで出てきてくれます。最近妹がお母さんの手作りのドレスがお気に入り、それを見せに玄関に出てきます。

先日、送迎をした際、妹の姿が見えなかったため直ぐに引き上げたのですが、それは奥でお着換え中だったらしく、姿を見てくれなかったと大泣きして大変だったらしいです。そんな子が愛おしく、

今度会った時には思いっきり誉めてやろうと、今から楽しみにしてる自分が何だか恥ずかしく思います。

## “紙芝居”

ここではみんなで使うペーパータオルを皆さんの協力で畳んで貰っています。これだけ大勢ですと、あつた言う間にでき上がり、未だ畳む物がないのか催促されるほどです。その隙を狙って紙芝居でも見てもらおうとしたのですが、畳むのに集中して話もうわの空だつてように思います。何か作業の方がいいのでしょうか。



## “歌が大好き”



この人は発語がしづらく、人に自分の意思をちゃんと伝える事ができません。私達は少しの身振りや手振り、何をしたいのかある程度読み取ることが出来るのですが、高齢者は全く理解できません。何か同じ事で楽しめないかと歌と一緒に歌ってみました。主に童謡が良いみたいで、大体ですが歌えます。国家も歌えるのですよ。知らない歌であっても、なんとなく口づさんで後に付いてきます。障があつても本人はさほど辛そうでなく、むしろ自分がしたい事をする。達の方がよほど色んな制約がある中

もがき苦しんでいる様に思います。

## “誕生日”

またまた誕生会。でもこれを楽しみにしている人が沢山います。大勢の人に祝って貰えるということが、全くなくなつてしまった今で、それがどんな形の誕生日であっても嬉しいのです。祝って貰えるその事がワクワクするのですね。



な  
害  
私  
で  
の  
て  
で